

平成 27 年度の事業報告書

平成 27 年 4 月 1 日から 28 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人居場所創造プロジェクト

1. 事業の成果

設立から 3 年を迎えた 27 年度は、会員、支援員、各種団体等の支援・協力のもと、日本 NPO センター及び日本たばこ産業(株)等の助成を受けて、居場所ハウスの組織・運営基盤整備及びコミュニティの支援活動と文化の継承等の事業を展開してきました。

(1) 組織・運営の継続強化

① 会員・支援メンバーの協力・確保及びパート雇用によるサポート

設立から 3 年となり、支援者・協力者及びパートの雇用により、催事の準備・開催及び町内外・地域からの利用者や市外からの見学者等に対応しながら、居場所ハウスの「役割」・「催事等の宣伝と普及」に対応し、苦節ながらも運営・活動に貢献したことは、今後の継続の弾みになった。

なお、現在、災害公営住宅・防災集団移転住宅の転居が本格化しており、高齢者・被災者の活躍の場の創出やコミュニティの形成を図るためにも、居場所ハウスへの期待と役割が大きく要求されることから、運営・活動の体制の充実を強化するためにも、絶対的に支援者・協力者の確保が肝要である。

② 定例会の開催

毎月 1 回、運営状況や課題及び翌月の行事とコアメンバーの当番決定や改善点等について、報告・協議を実施してきた結果、来館ししやすい環境改善、食堂の運営やメニューの改善等、建物修繕箇所の提言、メンバーから催事の円滑な開催等に対する質疑・発言も様々出てきているので、継続的な運営・活動のサポートとなっている。今後は、小さいことでも、何でも遠慮しないで多くの事を話し合うことが、運営・会の充実につながる。そこで、居場所ハウスへの提案・アイデアを募った(記述式)ところ、①草取り作業を手伝いたい。②味が良ければ評判になると思う③手伝ってほしいと言われたら手伝います。④野菜等の二次加工販売は喜ばれると思う。⑤冬季の畑作工夫で販売増収などの参考に値する意見があった。

なお、定例会の重要性と協議内容の共有には、メンバーが一人でも多くが参加できるよう、お互いに行事等に配慮し、連絡を密にしながら開催することが肝要と考えます。

また、新たな協力者にも、定例会に参加してもらい、居場所ハウスの運営・活動に対するアイデア・提案を話されたので、今後の指針の参考としたい。

③ コアメンバー・協力員及び団体による施設運営・活動支援

一週間のうち 3 日間をパートと協力員で来客の対応や食堂の運営をしている。また、朝市や催事等では、コアメンバーやボランティア団体等により施設運営・活動を実施している。このような有効的な体制を構築するために、今後も、継続して仲間同志でも積極的に声掛けし、効果的な施設運営・催事等を実施することを目指すものとする。

(2) 組織体制の確立と人材育成

NPO 法人居場所創造プロジェクトの運営・活動は、設立から 3 年を迎えたが、知識・経験のなさから不安定な活動をしてきた感じがする。これまで皆さんの活動に対するご協力とご支援により問題解決をし

てきたが、運営・活動・会計システム等の学習のため、他法人へ情報収集等が不可欠と判断し、大船渡市の夢ネット、陸前高田市のりくカフェへ出向き、助言・指導を受け問題解決に努めてきた。特に、NPO法人シニアパワーいわてから、随時会計ソフトの指導また、年間開催するNPO法人等に対する労務・総務・会計などの講習会に参加した結果、運営・活動のあり方・会計処理方法を学んだ。また、9月16日には、花巻なはんプラザで開催された、UCC 食材研修会に居場所メンバー7名が参加し、メニューの改善に努めたことで、運営に対する姿勢が前向きになったことは、かなり効果的だった。

このことは、各種助成金の活用による事業の推進及び運営資金の調達方法や委託販売等の財政基盤構築の一役にもなり、大変有意義な講習会となった。このことは、居場所ハウス全般における運営・活動にも反映され、一層の多世代交流・地域コミュニティの形成・地域活性化が図られたものとする。

なお、10月20日～30日まで、紀室（拓）理事がフィリピン（オルモック市等）を訪問し、居場所ハウスの現在の活動等の状況を説明しながら、農園づくりとして野菜の植え付け等畑作指導を実施して来た。野菜の成長等があり成果が上がり、大変喜ばれている様子が、随時報告されていることは、居場所ハウスの活動の励みにもなり、大変嬉しいことである。

なお、各種助成金申請書の提出に際しては、居場所ハウスの支援者やジャパンプラットフォーム職員及び岩手復興センターの職員等による協力・支援があったことは、大いに力強く感じており、今後もつながりを太くし継続申請につなげることが肝要と考えます。

また、1月23日NPOフォーラム21主催の「協働のまちづくりフォーラム」に参加し、居場所ハウスの活動事例を報告したことや申込みのある数多くの見学者等に対する運営・活動状況の説明やメディアの取材対応など、多くの訪問者との出会いは、今後の運営・活動の発展・人材育成に大いに繋がるものと考えている。

(3) 居場所ハウス二周年記念感謝祭・被災者復興支援交流会の開催

6月14日（日）、二周年を迎え、これまでの運営支援・協力や施設利用への感謝と震災から5年目にあたり、被災者の一日も早い復興を願い、末崎町民が一同に会し、コンサート(雪音さん)・日本舞踊(木元さん)・チンドン寺町一座(日頃市町)の出演やホタテ焼き・かき氷・「居場所」オリジナルの焼きそば・焼き鳥コーナー・衣料品バザー・フリーマーケット・野菜・郷土食品・花の販売・被災者の手作り手芸品等の出店による販売もあり多彩に開催された。この祭りには、会員や被災者支援員など47名のメンバーが結集し開催された。好天にも恵まれたことや無料シャトルバスの運行により約200名の参加があり、開始時間前から、町内の子供から高齢者まで多世代の住民が来場し賑わった。その中で、参加者は、前回に増して様々な人々が来場しており、大変有意義で効果的な祭りであった。

なお、今後も、引き続き居場所ハウスのより一層の普及や多世代交流、さらには、地域コミュニティの形成が図られるよう、会員・支援者・利用者の声を聞きながら、催事等の開催を実施することが肝要とする。

(4) 朝市の開催

近隣地域には、震災後、気軽に買い物ができる店舗がほとんどないため、不便で暮らしにくい生活環境となった。朝市の開催は、居場所ハウスのメンバーやボランティアの皆さん(約15)名の協力により、毎月第3土曜日開催の朝市は、町内外から毎回10店舗以上の出店があり、居場所農園の野菜・鉢花・衣料品・鮮魚・郷土食品・オリジナル焼き鳥・地域の産品が並ぶ。開催ごとに来場者が増加しており、地域・災害公営住宅住民の生活環境の向上及び親睦交流の場となり、活躍の場の創出と心身のケア及び地域コミュニティの形成に寄与されているものと確信する。

(5) スマイル食堂の開設

震災後、近隣地域には、特に、高齢者被災住民にとっては、気軽に食事ができる飲食がほとんどないため、暮らしにくい日常生活となっている。そのことから、2015年5月に食堂をオープンした。居場所ハウスの支援者やボランティアの皆さんの協力及びメニューなどの試行・改善を重ねて、木曜日を除く毎日昼食を提供している。徐々に来場者が増加しており、日常生活において地域住民・災害公営住宅住民の日常生活・利便性の向上及び交流の場となっているものとする。今後もメニュー等の改善・運営の努力をし、皆さんに喜ばれるスマイル食堂を目指すことが肝要である。

(6) 居場所農園づくり

居場所ハウスでは、2013年の夏から「居場所農園」をつくり、朝市で販売するため、多種類の野菜をつくり育ててきた。27年度は4月に開園し、体験型農作業を3回実施し、農業の楽しさやコミュニケーションの場づくりとなった。また、体験後は、日常生活への糧となるよう野菜を分配し喜ばれた。

今後は、町内及び災害公営住宅入居や防災集団移転で転居してくる人々にも、体験型農作業の開催に向けた声掛けを行い、地域住民と移転者との交流の場や活躍の場の創出と生活支援に努めたい。今後も農園づくりの協力を呼びかけを実施する。

(7) 居場所ハウス納涼盆踊り及び雑祭りとお茶会の開催

①.8月15日に納涼盆踊りを開催したところ、曇天であったが約70名の参加者でにぎわった。

地域に伝わる伝統文化・行事を学びながら、末崎町の風土に受け継がれていくことの大切さや地域住民及び被災者と帰省者が楽しみながら交流を深め、日常生活のリフレッシュになったものと確信する。このことは、今後も継続し開催する意義があるものと感じたところです。各コーナー運営は、居場所メンバーと地域の若者やボランティアの皆さんの協力・支援で、手作りうちわ・風船射的・ヨーヨー釣り・ホタテ焼き・焼き鳥・かき氷・ビアガーデンなど、多くのコーナーが開店できたことは、催事の開催に向けた大きな励みとなった。

②.2月21日の雑祭りとお茶会の開催では、古くから伝わる伝統文化を継承することが大切であるとの思いから、町内住民や仮設住民を対象に開催した。現代の雛人形と昔の土作り雛人形を対比しながら観賞した。同時にお茶の先生をお願いし、親子や来場者を含め、抹茶をいただきながら親子で楽しく絆を深めた雑祭りとなり、45名の参加があった。これらの活動を展開しながら、多世代による親睦交流・文化の継承を工夫を重ね積極的に推進して行きたい。

(8) 居場所ハウス・デジタル公民館まっさき共催キッズデーの開催

①.8月9日の親子・祖父母物づくり体験会では、どこ竹まっさきとサポートセンターおたすけの女性の皆さんの協力を得て、親子・祖父母12名参加し、竹細工によるカブトムシや、牛乳パックを使用した、エコトンボづくりを楽しく体験した。

このことにより、さらなる親子・祖父母の連帯感の醸成やふれあいと絆をより一層強めたものと思う。

②.1月11日開催の末崎の歴史を学ぶ会は、末崎の昔を語る会事務局長の新沼紀三氏を講師に開催された。当日は、町内外から小学生から大人まで、約70名の参加があり、興味深い様々な歴史の話に熱心に耳を傾けた。これからも、機会があったら聞きたいという話もあったので、継続して開催して行きたい。

(9) 被災地復興現地学習会

7月19日に開催され、津波伝承館や工事中の吉浜道路及び三陸鉄道復旧一周年記念を祝福乗車し、震災時

の様子や復興の現状について理解を深めた。学習会には、子ども3人を含む末崎町民23名が参加した。物を取りに戻った人や時間があるからと片付に戻った人が津波に巻き込まれた事実に触れ、地震が来たらすぐ逃げなければならないことや津波の恐ろしさを再確認した。

(10) 地域の課題ワークショップ開催

- ・主催者：IBASHO、日建設計ボランティア部 ・協力者：居場所ハウス
- ・開催場所： 居場所ハウス
- ・経過： 4回実施、コアメンバー約30名と地域の方々延べ約20名参加・ibasho、建設計ボランティア部毎回7～8名来館

地域の中で外出する際に感じる漠然とした不安や助けが必要なこと等、地域の課題を把握・共有し、改善策の検討につなげていくことを目的としている。

地域で抱えている不安・課題を話し合い、地図上に可視化することを通して、具体的な不安として把握・共有していくものである。完成まで、今後も継続実施することとしている。

(11) 健康講演会

10月6日に、居場所ハウス主催の健康講演会が、大船渡病院長 伊藤達朗先生を講師に、講演会を開催したところ、町内外から約50名の参加があった。先生は気仙圏域の医療・介護の方向性・介護の緩和ケアなどについての話があった。また、栄養管理士から脳卒中予防のための、減塩・適塩についてのお話しも同時にあった。気仙の医療の現状と健康で長生きするための貴重な講演・指導であった。

(13) 備品等の寄贈

- ①食堂建設資金の一部寄付⇒末崎公益会
- ②図書200冊⇒シャンティ国際ボランティア協会 岩手事務所
- ③鉄棒健康器・背のばしベンチ⇒アメリカにあるフィリピン人中心の看護師協会（清田英巳さんの仲介）
- ④和室の畳(一部)・土間塗装・月見台塗装⇒アメリカハネウエル社
- ⑤丸太ベンチ⇒伊東組
- ⑥テレビ岩手24時間テレビチャリティ募金⇒本棚・冷凍庫・寸胴鍋・電気炊飯器・レンジ・プロジェクター
- ⑦事務書棚・チェンソー⇒黒部ライオンズクラブ

(14) 寄付金・助成金等の活用

地域の様々な人々が、誰もが気軽に立ち寄り、自分なりに役割を持ちながら、楽しく自分らしくいられる「居場所」をモットーに建設された、多世代交流施設居場所ハウスの運営・活動に対する助成金により、以下の主な事業を実施した。

※今年度の助成金対象

- (1) 東日本大震災現地NPO 応援基金「しんきんの絆」復興応援プロジェクト 2,850,000円
- (2) 2015年度JT NPO 助成事業 1,346,000円
- (3) 社会福祉法人中日新聞社会事業団 東日本復興支援事業 1,500,000円(修繕等・ボランティア賃金)
 - ①有給ボランティア4名及びパート雇用3名による、日常の施設等の管理・事業運営・朝市販売活動に対する、給料・賃金を支給した。
 - ・パート給料・ボランティア賃金 3,939,600円・福利厚生費 12,042円
 - ②一年間のまつり・講習会・教室等の謝礼や必要とする物品、材料等の購入により、一年間の事業開催等の運営・活動を効果的に実施した。
 - ・催事費 588,929円
 - ③日常的に必要とする一年以上の耐用消耗品及び10,000円以上の什器備品を購入し、運営・活動を行った。

・備品消耗品費 320,438 円

④一年間のまつり・講習会・教室等のチラシ、ポスター印刷や記録冊子(居場所ハウス一年間の「あゆみ」)・「まちの居場所」の役割と可能性(田中氏執筆)により、一年間の事業開催等に努めた。

・印刷製本費 604,238 円(「まちの居場所」の役割と可能性除き)

(8) イベント及び各種講習会と教室等の開催

①子どもの日・鯉のぼりまつり

・5月3日(日) 10:00~13:30 末崎保育園児による七福神の舞踊など、約150名の参加

②「居場所」ハウスオープン二周年記念感謝祭・被災者復興支援交流会

・6月14日(日) 10:00~14:30 約300名の参加

③町民・被災者支援、交流のための納涼盆踊り開催

・8月15日(日) 16:00~20:00 約100名の参加

④大船渡を代表するさんま料理講習会の開催

・9月13日(土) 10:00~13:30 15名の参加

⑤健康講演会の開催 45名参加

10月6日(日) 10:00~12:00 45名の参加

⑥新そば打ち体験講習会の開催

・11月7日(日) 10:00~13:30 16名の参加

⑦「磯花寿司」作り体験講習会の開催

・12月12日(土) 10:00~13:30 15名の参加者

⑧親子対象の居場所ハウスクリスマスケーキ作り教室の開催

・12月20日(日) 10:00~13:30 40名の参加者

⑨末崎の歴史を学ぶ会の開催

・1月11日(月・祝) 10:00~13:00 70名の参加者

⑩一人絵画展(梅澤慶子画家)

・2月15日~22日(一週間) 10:00~16:00 90名の参加者

⑪親子対象の雑祭りとお茶会

・2月21日(日) 10:00~13:00 45名の参加者

⑫朝市開催 4月16日(土)のオープンから3月18(土)までの計12回

・9:00~12:00 毎月第三土曜日 合計約750名の来場で賑わった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
地域コミュニティ支援事業	・多世代交流イベント・講習会等の開催(別紙資料のとおり)	27年4月1日 ~ 28年3月31日	居場所ハウス	別紙資料のとおり	別紙資料のとおり	8,476

学術、文化、芸術振興推進事業	・図書スペースの提供 ・指導者他を招いて陶芸、音楽活動 ・舞踊、囲碁、雛祭りなど伝統文化の継承	同上	同上	同上	同上	50
情報提供活動事業	・ホームページ、Facebook、チラシ、地方紙、記録誌を活用した広報活動 ・調査、視察を目的とする見学者への対応資料の作成	同上	同上	同上	同上	230
調査、研究事業	居場所ハウス開催のイベント、朝市に対する意識をアンケートで調査し、運営・活動に反映させる	同上	同上	同上	同上	20

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)
販売支援事業	・朝市の開催による郷土食品、野菜、衣類等の販売支援 ・町内外住民の手作り作品販売の活動支援	27年4月1日 ～ 28年3月31日	居場所ハウス	15	966

平成27年度 活動 計 算 書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	35,500		35,500
賛助会員受取会費	10,000		10,000
会員受取入金	9,000		9,000
2. 受取寄付金			
受取寄付金	1,384,105		1,384,105
交流会寄付収益	731,424		731,424
3. 受取助成金等			
受取助成金	7,104,079		7,104,079
4. 事業収益			
その他事業収益		1,284,984	1,284,984
5. その他収益			
受取利息	429	34	463
雑収益	82,310		82,310
経常収益計	9,356,847	1,285,018	10,641,865
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
パート給料(事)	1,659,000	29,400	1,688,400
ボランティア賃金	2,146,200	105,000	2,251,200
福利厚生費(事)	12,042		12,042
人件費計	3,817,242	134,400	3,951,642
(2) その他経費			
業務委託費(事)	77,760		77,760
印刷製本費(事)	604,238		604,238
会議費(事)	13,691		13,691
旅費交通費(事)	43,260	12,026	55,286
催事経費(事)	588,929		588,929
通信運搬費(事)	127,105		127,105
消耗品費(事)	261,587	96,693	358,280
食料費(事)	198,146	449,108	647,254
備品消耗品費(事)	320,438	62,392	382,830
修繕費(事)	70,239	64,800	135,039
水道光熱費(事)	260,256	101,696	361,952
地代家賃(事)	61,000		61,000
賃借料(事)	155,900		155,900
減価償却費(事)	1,777,849		1,777,849
広告宣伝費(事)	172,800		172,800
保険料(事)	134,970		134,970
租税公課(事)		16,600	16,600
支払手数料(事)	2,052		2,052
管理諸費(事)	53,480		53,480
雑費(事)	35,348		35,348
農園経費(事)		28,435	28,435
その他経費計	4,959,048	831,750	5,790,798
事業費計	8,776,290	966,150	9,742,440
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0	0	0
(2) その他経費			
会議費	1,995		1,995
その他経費計	1,995	0	1,995

平成27年度 活動計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

(単位:円)

管理費 計	1,995	0	1,995
経常費用 計	8,778,285	966,150	9,744,435
当期経常増減額	578,562	318,868	897,430
III 経常外収益			
1. 過年度損益修正益		78,300	78,300
経常外収益 計	0	78,300	78,300
IV 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		804	804
経常外費用 計	0	804	804
税引前当期正味財産増減額	578,562	396,364	974,926
法人税、住民税及び事業税		22,000	22,000
経理区分振替額	374,364	△ 374,364	0
当期正味財産増減額	952,926	0	952,926
前期繰越正味財産額			29,240,281
次期繰越正味財産額			30,193,207

平成 27 年 度 貸 借 対 照 表

平成 28 年 3 月 31 日 現 在

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
普通預金	1,754,942		
現金・預金計	1,754,942		
売上債権			
未収金	41,514		
売上債権計	41,514		
その他流動資産			
仮払金	9,000		
その他流動資産計	9,000		
流動資産合計		1,805,456	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
建物	27,486,759		
什器備品	957,192		
有形固定資産計	28,443,951		
固定資産合計		28,443,951	
資産合計			30,249,407
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	34,200		
未払法人税等	22,000		
流動負債合計		56,200	
負債合計			56,200
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産額	29,240,281		
当期正味財産増減額	952,926		
正味財産合計			30,193,207
負債及び正味財産合計			30,249,407

計算書類の注記

1 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物資産：定額法
その他資産：定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、免税

2 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

3 固定資産の増減内訳

[税込] (単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
建物	30,000,000	1,463,061	0	31,463,061	△ 3,976,302	27,486,759
什器 備品	1,814,743	426,384	0	2,241,127	△ 1,283,935	957,192
合計	31,814,743	1,889,445	0	33,704,188	△ 5,260,237	28,443,951

事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

平成28年 3月31日 現在

(1/3)

[税込] (単位: 円)

科目	特定非営利活動に係る事業				
	法人管理本部	居場所創造プロジェクト事業	ロースクール活動事業	市民活動支援事業	赤い羽根事業
(人件費)					
パート給料(事)		252,000	470,400		
ボランティア賃金		270,000	616,200		
福利厚生費(事)		12,042			
人件費計	0	534,042	1,086,600	0	0
(その他経費)					
業務委託費(事)		45,360	32,400		
印刷製本費(事)		108,731	121,721		
会議費(事)					
旅費交通費(事)			43,260		
催事経費(事)		8,050			
通信運搬費(事)		103,296	2,940		
消耗品費(事)		69,813	32,131		
食材費(事)		122,507	6,923		
備品消耗品費(事)		112,654			
修繕費(事)		70,239			
水道光熱費(事)			61,924		
地代家賃(事)					
賃借料(事)			20,000		
減価償却費(事)		1,777,849			
広告宣伝費(事)					
保険料(事)		134,970			
租税公課(事)					
支払手数料(事)		2,052			
管理諸費(事)		53,480			
雑費(事)		29,348			
農園経費(事)					
その他経費計	0	2,638,349	321,299	0	0
合計	0	3,172,391	1,407,899	0	0

(2/3)

[税込] (単位: 円)

科目	特定非営利活動に係る事業				
	じんぎんの絆補助金事業	JT・NPO助成事業	中日新聞	学術・文化・芸術振興推進事業	情報提供活動事業
(人件費)					
パート給料(事)	936,600				
ボランティア賃金	720,000	540,000			
福利厚生費(事)					
人件費計	1,656,600	540,000	0	0	0
(その他経費)					
業務委託費(事)					
印刷製本費(事)	95,605	278,181			
会議費(事)	9,813	3,878			
旅費交通費(事)					
催事経費(事)	365,079	215,800			
通信運搬費(事)	5,000	15,869			
消耗品費(事)	111,855	47,788			
食材費(事)	68,716				
備品消耗品費(事)	120,000	87,784			
修繕費(事)					
水道光熱費(事)	198,332				
地代家賃(事)	61,000				
賃借料(事)	44,000	91,900			
減価償却費(事)					

広告宣伝費(事)	108,000	64,800			
保険料(事)					
租税公課(事)					
支払手数料(事)					
管理諸費(事)					
雑費(事)	6,000				
農園経費(事)					
その他経費計	1,193,400	806,000	0	0	0
合計	2,850,000	1,346,000	0	0	0

(3/3)

【税込】(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
	調査、研究活動事業	朝市、食装販売事業	
(人件費)			
パート給料(事)		29,400	1,688,400
ボランティア賃金		105,000	2,251,200
福利厚生費(事)			12,042
人件費計	0	134,400	3,951,642
(その他経費)			
業務委託費(事)			77,760
印刷製本費(事)			604,238
会議費(事)			13,691
旅費交通費(事)		12,026	55,286
催事経費(事)			588,929
通信運搬費(事)			127,105
消耗品費(事)		96,693	358,280
食材費(事)		449,108	647,254
備品消耗品費(事)		62,392	382,830
修繕費(事)		64,800	135,039
水道光熱費(事)		101,696	361,952
地代家賃(事)			61,000
賃借料(事)			155,900
減価償却費(事)			1,777,849
広告宣伝費(事)			172,800
保険料(事)			134,970
租税公課(事)		16,600	16,600
支払手数料(事)			2,052
管理諸費(事)			53,480
雑費(事)			35,348
農園経費(事)		28,435	28,435
その他経費計	0	831,750	5,790,798
合計	0	966,150	9,742,440

平成27年度 財 産 目 録

平成28年 3月31日 現在

特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト

科 目	金 額 (単位：円)	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金		
普通預金	1,754,942	
農協 居場所コミュニティ	(1,431,024)	
農協 朝市販売	(323,918)	
現金・預金計	1,754,942	
売上債権		
未収金	41,514	
売上債権計	41,514	
その他流動資産		
仮払金	9,000	
その他流動資産計	9,000	
流動資産合計		1,805,456
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
建物	27,486,759	
什器 備品	957,192	
有形固定資産計	28,443,951	
固定資産合計		28,443,951
資産合計		30,249,407
I 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	34,200	
未払法人税等	22,000	
流動負債合計		56,200
負債合計		56,200
正味財産		30,193,207